

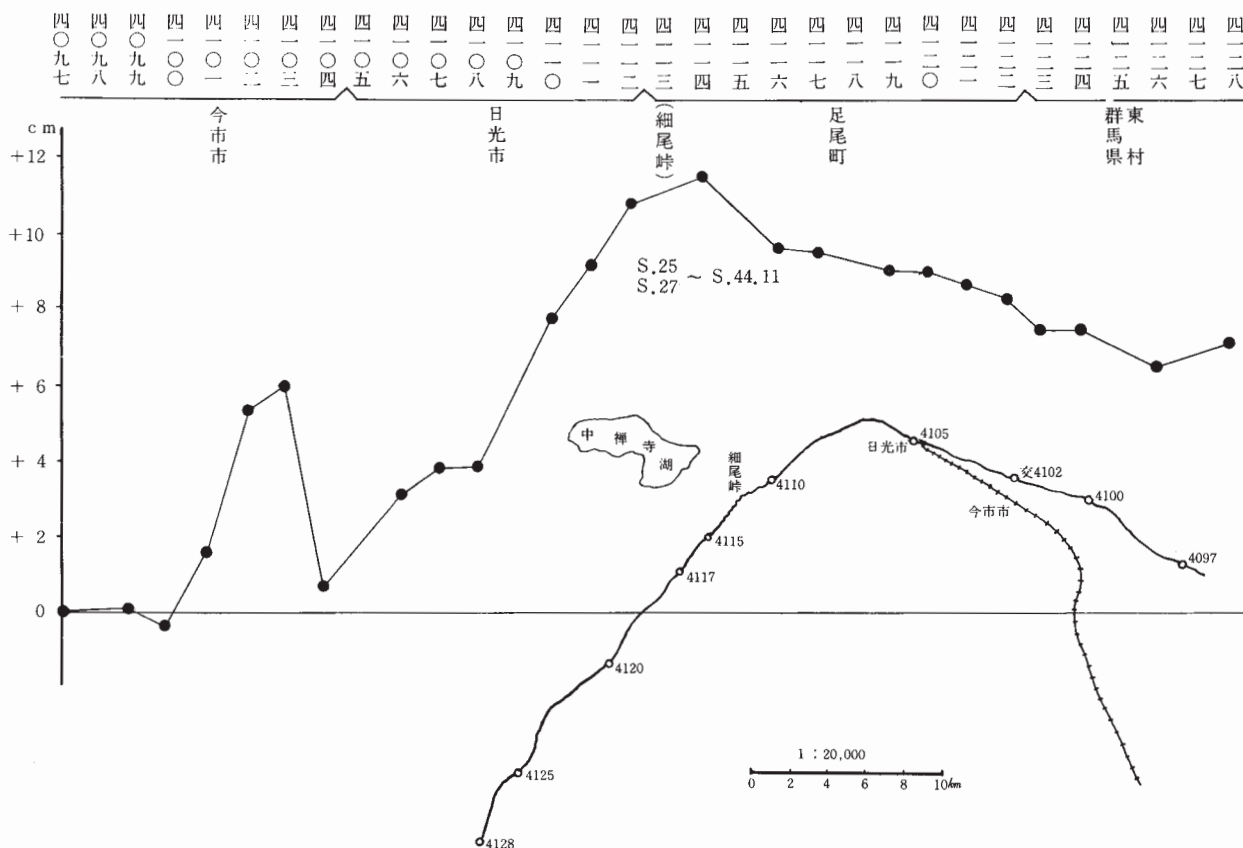
2-7 足尾地区群発地震による水準測量

国土地理院地殻活動調査室

連絡会報の第2巻に於いて水準点4107までの水準測量結果の報告をしたが、今市地震にひきつづき足尾付近に於いて群発地震が起こったことからそれに伴う地殻変動を調査するための水準測量が群馬県東村まで延長されたので前回のと一緒にしてまとめた。

第1図は、1950～52年より1969年11月までの変動図である。これによると今市市付近の異常隆起と細尾峠を頂点とした隆起が著じるしい。第2図は1967年にも同地域で水準測量を実施しているので1950～52年より1967年5月までと、1967年5月より1969年11月までに分けた変動図である。この図によれば1969年の今市地震のときの変動は殆んどなかったものと思われる。また細尾峠付近を頂点とする比高にほぼ比例した変動があるが、これは標尺等のシステムチック誤差だけでは説明できない量であり、両期間とも隆起していることはいかに解釈するかは興味ある問題であろう。これとは別に日光から足尾方面に向かって全体的な大きな傾動があるように思われる。

第1図 足尾地区群発地震調査変動図（4097を不動と仮定）



第2図 足尾地区群発地震調査変動図（4097を不動と仮定）

